

気になる
飲み込みに

ごっくんチェッカー[®]DX

波形解析ソフト My Swallow

嚥下/残留/呼吸/咀嚼の状態を
見る、聴く、記録する

飲み込みが心配な方のために。摂食嚥下・食事介助に関わる職種の皆様に。
幅広くお使いいただいています

院内での診察・検査に
口腔ケアに



施設での食事介助に
食形態検討・栄養管理に



訪問診療・訪問看護
訪問リハビリに



訪問介護に



咽頭残留の喀出、
吸引タイミングに



食事姿勢・睡眠時姿勢
ポジショニングに
嚥下リハビリに



在宅食事介助に

お薬、飲みにくく
ないですか



マッサージ・鍼灸で



ごっくんチェッカーシリーズの情報は 公式サイト <https://gockun.com> →



ごっくんチェッカーシリーズを お選びいただくポイント

音にならない圧の変動と、音の変動を一つのセンサーで採取。

解析ソフト「My Swallow」と連動させて、口腔から気管までの
嚥下前中後の状態、誤嚥、残留を波形とテキストで可視化。

頸部に装着するだけの、身体的リスクのない嚥下評価が好評

一般的なスピーカーと比べ、小さな残留の音も聴き取りやすく、
誤嚥が心配な食事介助を安心・スムーズに。肺雑音も聴取可能。

ごっくんチェッカーシリーズ機種「Smart Swallow®」が
指定管理医療機器登録され、安全性を認められています。

新型コロナウイルスの流行でリモート化が加速し、DX（デジタル
トランスフォーメーション）の時代に適した機能。



マイクでは採取することのできない誤嚥や、
小さな残留の状態までとらえる高性能センサー。



センサー装着時に使うネック
ベルトも自社製ですので、
小児用ベルトが必要な場合は
サイズをお申しつけください。

ごっくんチェッカーDXはここが違う

従来のごっくんチェッカー



センサー用MIC IN 1
外部機器接続用LINE OUT 1



電池 006P型 9V 1個

ごっくんチェッカーDX



青色OUT

緑色OUT

センサー用MIC IN 1
外部機器接続用機能別LINE OUT 2
Bluetoothによる音声送受信機能内蔵



電池 単3電池 4本

従来のごっくんチェッカーではMy Swallowなど外部機器に接続して測定またはイヤホンを接続すると、
スピーカーから音が出ない仕様になっています。

ごっくんチェッカーDXではOUT端子が2chあり、一つはごっくんチェッカー同様外部接続をするとスピー
カーから音が出なくなり、もう一つはMySwallowで測定をしながらでもスピーカーから音が出ます。

ごっくんチェッカーDXではBluetooth送受信機能を追加。有線/無線のどちらでも使えます。
有線が邪魔な場所で便利です。（ただし有線での使用時に比べ無線の方が波形が小さくなります。）

浜松市リハビリテーション病院 病院長
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 理事 藤島 一郎 先生



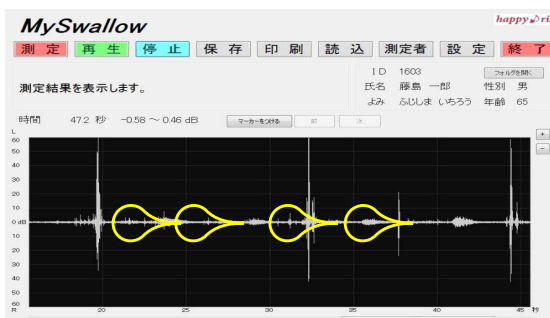
（株）ハッピーリス（吉田理恵さん）の開発した「ごっくんチェッカー」は
VE・VFでなければ観察できない患者の咽頭残留や誤嚥を侵襲性なく推測
する機器です。
頸部で雑音なく効率的に咽頭腔の空気の流れを流動圧の変化として捉えるも
ので、2018年の摂食嚥下リハビリテーション学会で私が報告いたしました。
当病院でも臨床評価の一環で利用しております。

嚥下の強弱、残留、誤嚥を波形で表現するMY SWALLOW®

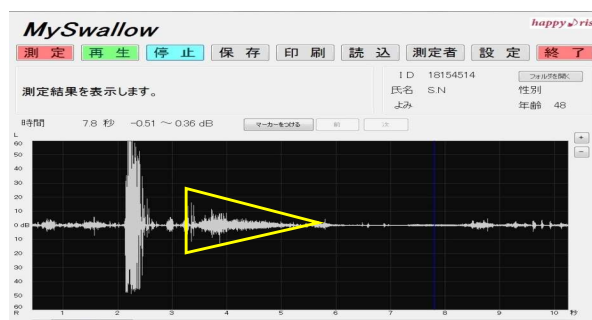
嚥下評価のための解析ソフト「My Swallow」は、圧と音の両方の情報を高速解析する、ごっくんチェッカーシリーズ専用のソフトです。
聴診器やVE、VFでわかりにくい誤嚥、唾液侵入、残留も可視化を実現しました。
音も同時に録音されているため、音と波形が同期して再生されます。
より精度の高い確認に。



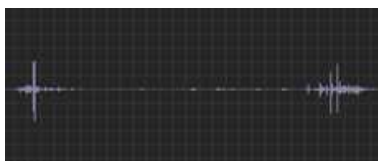
My Swallowで表れる波形パターンの例



正常な呼吸と嚥下の波形パターン



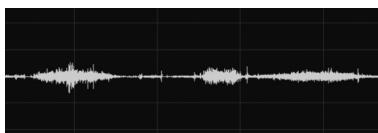
咽頭残留のパターン



弱い嚥下の例



誤嚥の例



残留と誤嚥の例

RSST

オーラル
ディアドコキネシス

咀嚼回数



VE・VFと併用も可

ふれあい歯科ごとう
五島 朋幸 先生



私が訪問歯科を始め、摂食嚥下障害へのアプローチを始めた頃、嚥下内視鏡(VE)などありませんでした。あれから四半世紀、VEがないと口から食べさせるようにはできないといった風潮すらあります。

しかし、個人的には疑問を持っています。もちろん必要なケースはありますが、全てのケースに手軽にできるものでもないし、そもそも口から食べることが難しい人へVEを入れて食べさせて、十分なパフォーマンスができるのか?という疑問もあります。

そんな時に「ごっくんチェッカー」と出会いました。

一朝一夕でできたものではありません。

どんどん改良を加えながらここまで来た製品です。そしてもちろん、臨床で十分に使用できる製品です。その製品で手軽に嚥下機能を観察することができるのですから本当にありがたい話です。

「ごっくんチェッカー」もVEなどと同じように、扱い方、波形の見方などに習熟は必要です。しかし、何と言っても手軽に実施できるのですから機会は多く作れます。その経験の中でより詳しく嚥下状態を見ていくことができます。

「ごっくんチェッカー」が食事評価のスタンダードとなることを期待しています。

Review

「Youtube ごっくんチェッカー」でユーザー様からのお役立ち情報もぜひご覧ください。

特別養護老人ホーム
ヘルパー

誤嚥しやすい方やいつ飲み込んだかわからない方の食事介助が楽になりました。

介護老人保健施設
作業療法士

食事の1分程度でビデオも録画しながら波形解析します。特に食形態検討に良いです

療育センター
作業療法士

誤嚥しやすいので食事姿勢を調節する時や普段の上肢姿勢の確認で使っています。

病棟 リハビリ科
言語聴覚士

入院患者様の食事リハなど残留や誤嚥をしにくいポジショニングに使っています。

リハビリテーション科
医師

外来ではRSS TやMWS T、またVFと同期して不顕性誤嚥の発見につとめています。

訪問診療 歯科医師

VEを受けつけない方には特にごっくんチェッカーは役に立ちます。家族やスタッフにその場で状態を伝えやすいのも良いです。

特別養護老人ホーム
言語聴覚士

感染症対策が重視されている中でこれはありがたいです。訪問の先生とも情報共有できます。

訪問管理栄養士

食形態を変えた時に咽頭残留の変化がわかりやすく、どの調理方法だとハードルが高いのか明確です。

訪問理学療法士

リハビリの際いつも持参しています。本人や家族にもわかるので、リハビリ意欲も増しています。

仕様・組み合わせ例

ごっくんチェッカーDX「MySwallow」PCセット HR-DXMSPC-001



モニター
ディスプレイ

「MySwallow」を
インストール済の小型PC

Bluetoothキーボードと
無線マウス

ごっくんチェッカーDXHOME HR-DXHM-001



「MySwallow」を
インストール済の
タブレット

インター
フェース

ごっくんチェッカーDX仕様

センサー： サイズ 直径30mm ケーブル長さ2.5m 表面材質アルミニウム
スピーカーアンプ： サイズ 高さ820mm 幅102mm 奥行160mm
重量300g 電源 単三電池4本
センサー装着用ネックベルト、アルミ製格納ケース

従来のごっくんチェッカーをご使用中の場合は「MySwallow」セットのみの追加で本システムをお使いいただけます。

製品の外观、仕様は各メーカーの都合で変更される場合がございます。

《開発製造元》
株式会社ハッピーリス

東京都大田区本羽田2-12-1
本製品の技術お問い合わせは
carereco@happyris.com
FAX 03-5879-4261

happyris

